

令和 4 (2022) 年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	組織空間とゲノム情報の定量的統合による胃癌多様性の新しい定義
研究代表者	石川 俊平 (東京大学・大学院医学系研究科 (医学部)・教授) ※令和 4 (2022) 年 6 月末現在
研究期間	令和 4 (2022) 年度～令和 8 (2026) 年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】 本研究は、我が国の主要がん種である胃がんを対象に、腫瘍の組織形態像を数値化し、それにゲノム情報、臨床情報や患者背景などを包括的に統合して、胃がんの多様性全体像の把握と病理組織像にとらわれない胃がんの新たな定義と分類を提案することを目指すものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】 人工知能(AI)を駆使して、病理組織像の構造化とゲノムをはじめ多様な情報を統合することで、胃がん病態理解の深化を目指す独創性と革新性の高い課題である。本研究の成果を基に、他のがん種への応用基盤となるプラットフォームを確立することができれば、がんの研究や医療への貢献と波及効果が期待される。</p>